

実績確認概要書

平成 25 年 2 月 15 日

審査機関名 (株)JACO CDM

1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	白洋舎東部事業所における、ガス焚蒸気ボイラの高効率タイプへの更新による省エネルギー事業
承認番号	JCDM-PJ0039
排出削減事業者名	株式会社白洋舎 ユニフォームレンタル東部事業所
排出削減共同実施事業者名	株式会社三井住友銀行 株式会社リサイクルワン (その他関連事業者：裕幸計装 株式会社)
事業実施場所	株式会社白洋舎 ユニフォームレンタル東部事業所 (神奈川県横浜市港北区新羽町 1276)
事業の概要	既設のガス焚ボイラを、高効率タイプのガス焚ボイラへ更新することで、エネルギー効率の改善を図りエネルギー消費量の削減、CO2 排出量の削減を行う。
排出削減量の計画	89 tCO2/年 (事業実施期間合計 356 tCO2)
国内クレジット認証期間	開始日 2009 年 4 月 1 日 終了予定日 2013 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 001 ボイラーの更新

2. 本実績確認の対象期間

2012 年 1 月 1 日 ～ 2012 年 12 月 31 日 (第 4 回目実績報告)

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	55 tCO2
-------	---------

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減計画に従って実施した結果生じていること	<ol style="list-style-type: none">1) 開始日の確認 初回実績確認の時点で、承認排出削減事業計画通り 2009年4月1日に本事業が開始されたことを、エネルギー使用実績データ及び事業者への質問により確認している。2) 対象期間中の設備稼働確認 承認排出削減事業計画に従い、更新された高効率ガス焼きボイラ〔三浦工業株式会社製、SQ-2000ZS〕が使用されていることを、関係者への質問、ガス流量計の計測記録（毎日）及び東京ガス発行の「ご請求書兼ガス料金等払込金受領証」（毎月）により確認している。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	<ol style="list-style-type: none">1) モニタリング方法の確認 承認排出削減事業計画に従い、事業実施後の都市ガス使用量等のモニタリングが実施されていることをガス流量計の計測記録により確認している。2) 活動量の正確性 承認排出削減事業計画通り、活動量は採用されていないことを確認している。3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認 排出削減量の算定式及び使用されている都市ガスの単位発熱量及び炭素排出係数が、排出削減方法論に従っていることを確認している。4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認 本実績確認の対象期間の測定結果と排出削減量の算定結果を突合、計算過程の確認、再計算等を実施した結果、

	<p>排出削減量の算定結果が正確である事を確認している。</p> <p>なお、都市ガス使用量についてはガスメータにより計測された使用量が標準状態に換算されていること確認している。</p>
<p>算定期間が 2013 年 3 月 31 日を超えないこと</p>	<p>本実績確認の対象期間は、2012 年 1 月 1 日から 2012 年 12 月 31 日までであり、排出削減量を算定した期間が 2013 年 3 月 31 日を超えないことを確認している。</p>

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価

特になし。

6. 特記事項

確認した排出削減量に相当する省エネ量については原油換算 28.4 kL であることを確認している。

以上